資料２

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略
基本目標・基本的方向についての検討資料

≪基本目標①≫

“住みたいまち”に

⇒　ふるさとへの愛着と魅力の醸成・発信による新しい「ひと」の流れを創る

【数値目標】
◇　5 年後の転入者数を 120 人増加させる
△180 人/年(直近 3 年平均値)　⇒　△60 人/年（2020 年）

【基本的方向】
○養父市で生まれ育った若者などへ結うターン（Ｕターン）を促す取組みや回帰を促すアプローチを市民総動員で行う。
○農業をはじめ豊かな自然環境を活かし、心豊かな生活を送れる「やぶぐらし」を提案し、移住を促進する。
○次世代を担う養父市で学び育つ若者にふるさと意識を醸成する。
○養父の魅力や「やぶぐらし」を多様なチャンネルで情報発信する。

≪基本目標②≫

”チャレンジできるまち”に

⇒　恵まれた機会と養父市が持つ強みを生かし、養父らしい「しごと」を創る

【数値目標】
◇　新たな雇用創出数　　200 人/5 年間
◇　新たな起業・創業件数　　50 件/5 年間

【基本的方向】
○“日本一農業をしやすい”環境の中で攻めの農業を展開する。
○起業・第２創業などチャレンジしやすい環境づくりや、養父ぐらしに欠かせないしごとを重点的につくる。
○地域資源を活用した新しいツーリズムの創造や既存産業の振興を促進する。
○世界に発信できる伝統産業のイノベーションにより新たな価値を創造する。

≪基本目標③≫

”子育てしたいまち”に

⇒　安心して出産・子育てができる環境と地域全体で将来の担い手を創る

【数値目標】
◇　出生数　　5 年間で 770 人の出生
◇　合計特殊出生率　　1.81 に上昇させる（現在 1.61）

【基本的方向】
〇若い世代の男女が出会うことができる場（機会）をつくる。
〇子どもを安心して産み育てられる環境をつくる。
〇「地域まるごと３世代」をテーマに地域全体で子どもを育てる環境を整える。

≪基本目標④≫

“健康長寿のまち”に

⇒　生涯現役で安心して幸せに暮らせる環境を創る

【数値目標】
◇　初めて要介護認定を受けた人の平均年齢　　85 歳に上昇させる
（現在　83.81 歳）

【基本的方向】
〇運動・食・社会参加により健康長寿で誰もが元気に暮らせるまちを実現する。
〇予防と健康づくりを支えるしくみを整える。
〇安全・安心なコミュニティの基盤をつくる。